

令和3年度の当初予算を紹介します

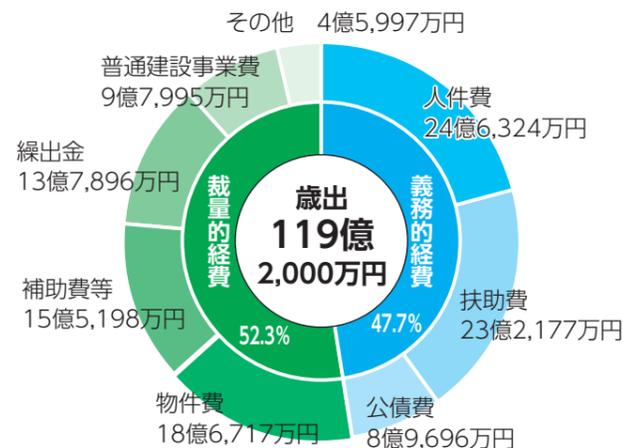
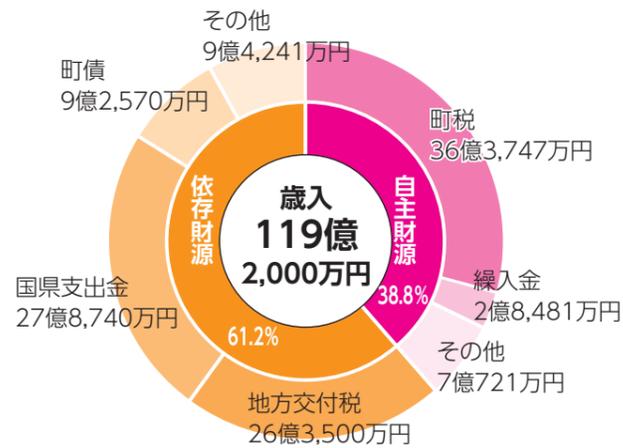


予算総額 **225億7,279万円** (前年度比 ▲2.0%)

一般会計 119億2,000万円 (前年度比 ▲5.2%)
 特別会計及び企業会計 106億5,279万円 (前年度比 +1.7%)

令和3年度の茨城町の一般会計予算は、119億2,000万円で、前年度より6億4,900万円の減となりました。充実した予算とするため、限りある財源をより効果のある事業へ重点的に配分しました。

一般会計



歳入用語

自主財源：町が自主的に調達するお金です。
 町税…皆様に納めていただく税金です。
 繰入金…町の貯金から取り崩すお金です。
 その他…施設使用料や証明書の発行手数料などです。
依存財源：国や県から補助されるお金です。
 地方交付税…他市町村との財源の均衡を保つために国から配分されるお金です。
 国県支出金…特定の事業に対して国・県から補助されるお金です。
 その他…地方消費税交付金をはじめとした国からの各種交付金などです。

歳出用語

義務的経費：支出することが義務づけられた経費です。
 人件費…議員や各種委員、職員にかかる経費です。
 扶助費…町民の皆様の社会福祉にかかる経費です。
 公債費…借金の返済にかかる経費です。
裁量的経費：政策的な判断で増減できる経費です。
 物件費…事務費や備品購入、委託等の消費的な経費です。
 補助費等…他団体や町民の皆様に対する現金的給付の経費です。
 繰出金…特別会計に対して支出する経費です。
 普通建設事業費…公共施設の建設や改修経費です。
 その他…預金への積立金、維持補修費などの経費です。

特別会計及び企業会計

国民健康保険特別会計	37億5,133万円
後期高齢者医療保険特別会計	4億3,178万円
介護保険特別会計	34億2,743万円
農業集落排水事業会計(3条)	3億5,341万円
農業集落排水事業会計(4条)	1億1,123万円
公共下水道事業会計(3条)	6億9,129万円
公共下水道事業会計(4条)	4億2,855万円
水道事業会計(3条)	7億6,012万円
水道事業会計(4条)	6億9,505万円
工業用水道事業会計	260万円
合計	106億5,279万円

【問合せ先】 財政課 ☎ 029-240-7123 (直通)

社会保障財源分

消費税引上げ分は、社会保障財源分として社会保障経費に充当します。社会保障財源分は3億8,800万円と前年度と比べて1,470万円の増となっています。

社会保障関係経費：44億2,203万円
 消費税交付金充当分：3億8,800万円

<内訳>

科目	予算額	充当額
社会福祉	26億2,941万円	1億4,770万円
社会保険	13億7,896万円	1億9,360万円
保健衛生	4億1,366万円	4,670万円
合計	44億2,203万円	3億8,800万円

バイパスや幹線道路などの改良工事を実施

生活基盤の利便性向上や交通事故防止のため、引き続き中石崎バイパス道路の新設や生活道路の改良整備を実施します。

道路や橋梁・河川の点検・修繕などを実施



地域に暮らす皆様が安心して利用できる社会インフラの保全を図るため、傷んだ道路や橋梁の長寿命化対策を実施するとともに、河川の保全や修繕を実施します。

新規就農者受入研修の実施

次代の農業を担う人材育成を図るため、町外から新たに農業を始めたい方を研修生として受け入れます。

サイクルツーリズムの推進



新たな観光資源の創出を図るため、自転車に関するイベントの開催や、自転車愛好家が利用するサイクルサポートスポットを充実します。

未来への生活基盤が整ったまち

地域における国・県道などの幹線道路は、住民生活を支える根幹的なインフラであるとともに地域経済の活性化など、本町の均衡ある発展にとって最も重要な社会資本であり、人々の安全・安心な暮らしにおいて欠かすことのできない骨格的な社会基盤です。この道路ネットワークが有機的に整備されることにより、近年頻発する自然災害などに対する広域的な防災力の強化にも繋がっていくものと考えています。そのためにも引き続き、国・県道の整備促進が積極的に図られるよう、関係自治体との連携を通じて国及び県等への要望活動を進めていきます。

そのような中、現在、県道整備においては、大洗友部線の茨城中央工業団地から国道6号へ向かう小鶴までの区間において、早期の供用開始を目指し急ピッチで工事が進められています。そのほか、町内を縦横断する水戸神栖線、宮ヶ崎小幡線などの各路線とともに、内原塩崎線(長岡中山バイパス)においても早期着工が図られるよう、関係機関と協力、連携を図りながら推進していきます。

また、国道6号の整備については、交通安全対策として小鶴西交差点付近の一部が4車線化整備に向け事業着手したところですが、当路線は最も重要な幹線道路であり、町内全区間の4車線化に向け、早急な整備が図られるよう、国への積極的な

みんなの力でつくる自立したまち

郷土を愛する心や人を思いやる温かさなど豊かな人間性を有する本町の誇り、町民性を生かしながら、町民、関係団体、民間企業、大学等の積極的な参画及び協働を促し、「全員参加」によるまちづくりを進めていきます。

要望活動を行っていきます。

町道については、令和元年度より着工した中石崎町内、町道120号線バイパス化新設改良工事や、本年度より着工した城之内町内、町道202号線の道路改良工事が順調に進捗しており、引き続き、早期完成に向け推進を図るとともに、新たに小堤町内、町道117号線の改良工事を実施していきます。

また、新しい文化の創造の拠点となる文化的施設整備については、外部検討委員会や各方面からの意見をもとに、整備場所を「中央公民館大ホール解体後の中央公民館跡地」に決定しました。今後は、町民にとって利用しやすい施設の規模や機能などについて検討を進めるとともに、役場周辺の賑わいの創出と防災機能の強化を図るためのまちづくり計画を策定していきます。

そのほか、人口減少時代における地域活性化政策の一環である、移住・定住の取組みについても、住まいの確保を図るとともにサポート体制の充実に努めます。